

【農業土木施工】

水食の仕組みと因子に関する次の記述のA～Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

細流浸食を放置したところ、畑の畝間、くぼみなどに雨水などの流出水が集まり、次第にそこを削って、耕作の支障となる大きな溝に発達する現象を という。

水食は、一般に土地の傾斜が急になるほど、地表流出水の流れる斜面長が ほど、浸食はひどくなる。また、土層の浸透能も水食の程度に影響し、浸透能の小さい土層では、降雨が地中に浸透しにくく、地表流が発生するため、水食が 。

- | | A | B | C |
|---------|----|----|--------|
| 1. 面状浸食 | 短い | 短い | 起こりにくい |
| 2. 面状浸食 | 短い | 短い | 起こりやすい |
| 3. 面状浸食 | 長い | 長い | 起こりにくい |
| 4. ガリ浸食 | 短い | 短い | 起こりにくい |
| 5. ガリ浸食 | 長い | 長い | 起こりやすい |

高校卒業程度：農業土木
専門試験

【農業土木施工】

1800 m³（締固めた土量）の盛土を造成するために必要な地山の土量と、ほぐした土量の組合せとして妥当なのはどれか。

ただし、土量の変化率は、ほぐし率を1.2，締固め率を0.9とする。

	地山の土量	ほぐした土量
1.	1500 m ³	1350 m ³
2.	1620 m ³	1350 m ³
3.	1620 m ³	2160 m ³
4.	2000 m ³	2160 m ³
5.	2000 m ³	2400 m ³

【正答番号 5】